

## 第85回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動について

2000年2月以降の全国の火山活動状況は以下のとおりである。

有珠山が3月31日に噴火し、現在も噴火活動が継続している。別紙のとおり統一見解を発表した。（注：統一見解は、会報第77号に掲載）

岩手山では地震活動、地殻変動等に大きな変化はないものの、噴気活動は活発な状態が続いている。今後も火山活動に注意が必要である。

### 1. 北海道地方

#### 1) 雌阿寒岳

- ・ポンマチネシリ96-1火口の噴煙は1996年11月の噴火以降やや多い状態が続いていたが、1999年11月以降減少傾向がみられる。
- ・2月中旬と4月に南方5～7kmを震源とする地震が一時的に増加した。

#### 2) 十勝岳

- ・62-2火口の噴煙活動は引き続き活発な状態が続いている。高感度カメラにより火口付近が明るく見える現象を時々観測した。
- ・遠望観測で前十勝北西斜面に新たな噴気を確認した。

#### 3) 樽前山

- ・A火口の温度は5月の現地観測で582℃を観測、高温の状態が続いている（前回1999年11月：619℃）。また火口原西側の地熱域は昨年までは温度が低下傾向だったが、5月の観測では温度の上昇と地熱域の拡大を観測した。
- ・地震回数は1999年7月上旬の顕著な群発以降は少ない状態が続いている。

#### 4) 有珠山

- ・統一見解発表：別紙参照。（注：統一見解は、会報第77号に掲載）

#### 5) 北海道駒ヶ岳

- ・3月12日、23日にそれぞれ1回、振幅の小さな火山性微動を観測した（1999年3月1日以来）。

### 2. 東北地方

#### 1) 岩手山

- ・3月7日に犬倉山～姥倉山を震源とするM3.8の地震があった。岩手山山体を震源とする地震ではこれまでで最大規模であった。
- ・岩手山東側のやや深い低周波地震（深さ6～13km）は1月、2月に増加したが、3月以降は少ない。
- ・火山性微動回数は2月2回、3月1回と少なく、4月以降は観測していない。
- ・GPS観測によれば、特に変化はない。
- ・4月の機上観測で大地獄谷の西小沢で新たな噴気孔群が観測された。黒倉山山頂の噴気は時々100m以上観測され、西岩手山の噴気活動は引き続き活発な状態が続いている。
- ・このように岩手山では地殻変動にはほとんど変化が見られないものの、地震活動は依然として継続しており、西岩手山の噴気活動は活発な状態が続いている。水蒸気爆発などが発生する可能性は依然として続いており、

今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要がある。

2) 鳥海山

・東北大学の観測によると4月30日に微小な地震が多発した。

3) 蔵王山

・2月5日、蔵王山東南東約5kmを震源とするM3.5の地震が発生した。

4) 吾妻山

・昨年増加した地震回数は本年に入り減少傾向である。

5) 安達太良山

・2月19日、遠望カメラにより沼ノ平の噴気が通常より多く出ているのが観測された。23日に実施した機上観測では沼ノ平南西部で白い噴気が高さ50~100m上がっているのを確認したが、その他に異常はなかった。沼ノ平南西部では依然として噴気活動が活発な状態が続いている。

6) 磐梯山

・4月26日、磐梯山の西南西約5kmを震源とするM4.3の地震が発生した。

・5月10日、火山性微動を1回観測した。

・5月21日、磐梯山付近を震源とするM2.4(暫定)の地震が発生した。

3. 関東・中部地方

1) 草津白根山

・4月10日に振幅の小さな火山性微動を2回観測した(1992年12月5日以来)。

2) 浅間山

・地震回数が4月17日に一時的に増加した。表面現象に変化はなかった。

3) 伊豆大島

・地殻変動観測によると、島の膨張傾向が引き続き観測されている。

4) 神津島

・4月14日を中心にM3.5を最大とする地震活動があった。

・地殻変動観測によると、島の膨張傾向が引き続き観測されている。

5) 三宅島

・4月27日と29日に低周波地震(深さ26km)を観測した。

・地殻変動観測によると、島の膨張傾向が引き続き観測されている。

4. 九州地方

1) 鶴見岳

・4月29~30日に北東約7kmで地震活動があった(最大M4.0)。

2) 阿蘇山

・中岳第一火口の火口底は全面湯だまりが続いた。また、南側火口壁下では噴湯現象を観測した。

3) 雲仙岳

・3月28日と4月12日にそれぞれ1回、火山性微動を観測した(1999年11月24日以来)。

4) 霧島山

・新燃岳では、1999年11月6日から地震が増加したが、11月10日の192回をピークに減少した。火山性微動は1月7日を最後に発生していない。

・高千穂峰御鉢では、1999年12月初めから地震が増加し、2000年3月上旬をピークに低下したがまだ多い状態である。ここで地震が多発したのは、1978年以来である。

・なお、表面現象に異常はなかった。

## 5) 桜島

- ・ 1999年後半以降噴火活動は活発で、特に1999年12月は88回の爆発があり、2000年2月にかけても活発な状態であったが3月には次第に穏やかになり、4月以降もその状態である。
- ・ 地殻変動観測によると、1997年末からの始良カルデラ地下の増圧を反映した桜島北部の地盤隆起（2 cm/年）が継続している。
- ・ この2、3か月、噴火活動はそれ以前に比べて低下しているが、始良カルデラ地下でのマグマ蓄積は着実に進んでいる。A型地震の多発・B型地震の増加に対応した数か月間の爆発活動・降灰の増加とその後の一時的静穏化という活動を漸次活動レベルを上げつつ、繰り返すと考えられる。

## 6) 薩摩硫黄島

- ・ 1月下旬から40回前後に増加した地震回数は2月中旬以降50～70回とさらに増加し、時折100回を越えた。

## 7) 口永良部島

- ・ 1999年7月以降増加した地震回数は10月をピークに減少し、1日当たり数回程度と少ない状態で推移した。

## 5. 海底火山

### 福徳岡ノ場

- ・ 2月17日にやや薄い変色水が観測された。
- ・ 4月13日に幅約90m、長さ約270mの楕円状のごく薄い青色の変色水域が観測された。